

平成26年度「研究者コミュニティ開発データベース作成」「地域間交流研究実施支援」業務 実施概要 (愛知大学三遠南信地域連携研究センター 委託事業)

1. 業務の目的

文部科学省の共同利用・共同研究拠点として、愛知大学三遠南信地域連携研究センターが認定を受けた「越境地域政策研究拠点」において、全国の越境地域研究機関との共同研究を進めるための実務的支援業務として、(1)研究者コミュニティ開発データベース作成、(2)地域間交流研究実施支援、を行った。

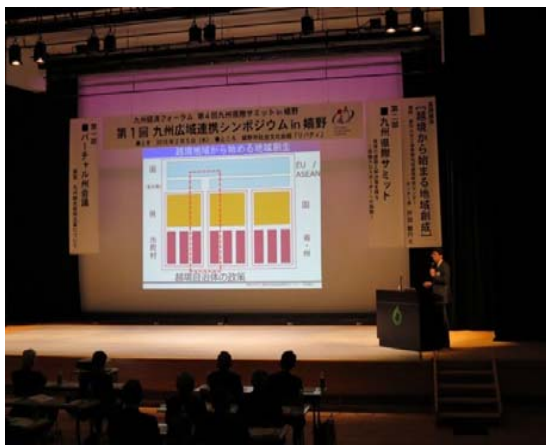
2. 業務の概要

(1) 研究者コミュニティ開発データベース作成業務

全国の越境地域に対する既往研究、調査結果及び地域データの収集・整理した。九州県境地域を事例に県境を越える地域連携事業の取り組み状況について実態調査を実施し、情報をとりまとめた。

(2) 地域間交流研究支援業務

地域間交流研究に応募した越境地域や今後応募可能性のある越境地域の学術研究機関や行政機関、経済団体等と円滑に越境地域政策研究を進めるため、研究者や行政関係者との連絡・調整に際して現地打ち合わせ等の折衝や、越境地域におけるセミナー、フォーラム、研究会等開催に関する支援を行った。



■ 地域間交流連携研究支援①

平成27年2月5日に嬉野市社会文化会館において九州経済フォーラム主催「第1回九州広域連携シンポジウム in 嬉野」が実施された。地域間交流研究に関する学際シンポジウムの企画支援を行った。



■ 地域間交流連携研究支援②

平成27年2月28日に足利工業大学において両毛地域連携政策研究として「地域間交流シンポジウム」が実施された。地域間交流研究に関する学際シンポジウムの企画支援を行った。